

各小中学校でインクルーシブ教育システムを進めるには？

「基礎的環境整備」を整えましょう

- 基礎的環境整備は、障害のある児童生徒一人一人に提供する合理的配慮の基盤となるものです。
- それぞれの学校で、どんな環境（人的・物的）があるか整理してみましょう。
- 学校により環境は異なります。最大限充実した環境になるように努めましょう。

「基礎的環境整備」の例

特別支援学級で少人数指導をしています。



- 知的障害特別支援学級
- 自閉症・情緒障害特別支援学級
- 言語障害特別支援学級

特別支援学級や通常学級での支援等、ニーズに応じた指導を提供しています。

• 教科指導

• T T



大型テレビやデジタル教科書などのICT機器を活用しています。



- タブレット端末
- タイマー
- デジタルコンテンツ

個別の支援計画、個別の指導計画を作成しています。



- 特別支援学級用
- 通常の学級用

基礎的環境整備は8観点あります。
人的環境・物的環境



特別支援教育コーディネーターが機能しています。

- 校内支援体制の充実

教育補助員が配置されています。

- 安全確保
- 生活介助



教室環境が整理されています。



- 整理整頓
- 静かな教室
- 前面掲示
- 本時の学習の見通し

校内研修を充実させています。



- UDの授業
- 合理的配慮
- 障害理解
- 学級経営

エレベーター、トイレなどの施設・設備が整備されています。

- 多目的トイレ
- 温水シャワー

